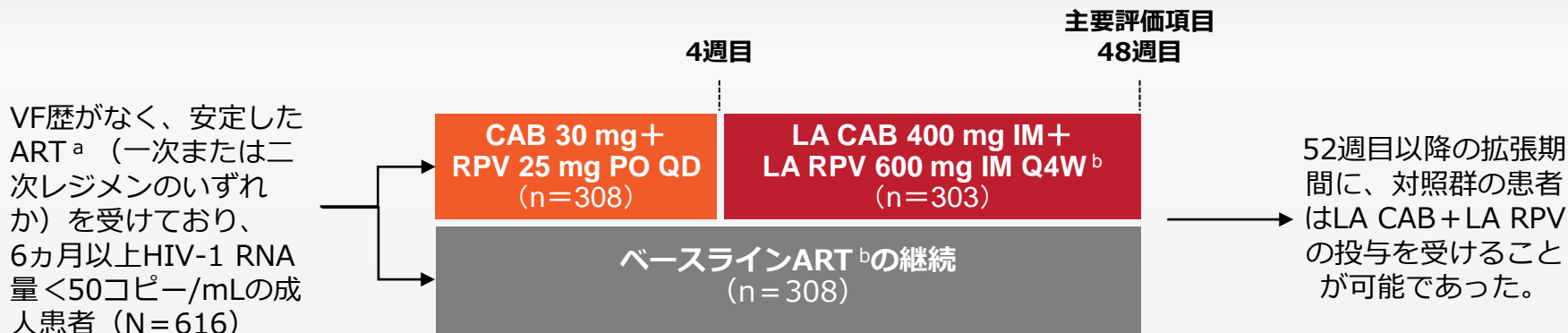


ATLAS試験：ウイルス学的抑制が得られている成人患者における長時間作用型CAB+RPV (IM) への切り替え vs 3剤ARTの継続

多施設共同非盲検無作為化第III相非劣性試験



- **主要評価項目：** 48週目のFDAスナップショットによるHIV-1 RNA量 \geq 50コピー/mLの患者の割合（非劣性マージン6%）
- **副次評価項目：** 48週目のFDAスナップショットによるHIV-1 RNA量<50コピー/mLの患者の割合、ウイルス学的失敗時の耐性、安全性および忍容性、患者報告アウトカム

^a 容認されたベースラインレジメン：NRTI 2剤+INSTI（DTG/ABC/3TCは除く）、NNRTIまたはrtv（リトナビル）を併用するPI [またはrtv（リトナビル）を併用しないATV]

^b 負荷用量：LA CAB 600 mg IM+LA RPV 900 mg IM、通常の用量の投与は8週目より開始した。